

# 일본전통문화론

담당교수 나행주

# 관련 사항

- 전통문화란?
- 역사적 기원(시대) 및 유래(천황/귀족, 무사, 상인 불교/신도 등)
- 시키타리-유래 및 내용 \*pdf자료 \*휴일표 참조
- 연중행사 다도 정원 등 기본 개념/사항 이해

# 전통문화

- 전근대(고대~근세) 문화=전통문화 \*근대/현대=대중문화
- 내용-4대 예능(노/교겐/분라쿠/가부키)  
4대문화(다도/화도/주택/정원) 연중행사(춘하추동, 1-12월)  
마쓰리(축제), 야마토에/우키요에, 스모, 도자기 등
- 역사적 기원 및 유래
- 야요이~에도시대 천황/귀족 무사(사무라이) 상인(초닌)
- 절과 신사 종교의례(불교와 신도) 조상숭배/원령 사상 등
- 불교와의 관련성 \*선종(禪宗)[무사들의 정신세계에 영향]

# 몇 가지 시키타리 및 그 유래

-불교 무사 상인 등 \*pdf파일

- 오카와리
- 젓가락
- 다다미노헤리
- 좌측통행
- 마네키네코
- 미기마에/히다리마에
- 다루마 야쿠도시 등

# 휴일과 연중행사

- 휴일에 나타난 특징-천황의 나라, 자연환경(열도 산과 바다)
- 주요한 연중행사
- 춘하추동[ 하나미 하나비 고요(모미지가리) 유키마쓰리]
- 1월 오쇼가쓰 2월 세쓰분 3월 히나마쓰리 5월 고이노보리  
6월 치노와 7월 다나바타 8월 오봉 9월 중앙절  
11월 시치고산 12월 도시코시소바
- 기타

# 同朋衆(도보슈) 家元(이에모토)제도

이에모토 제도[다도의 이에모토 三千家 센노 리큐의 후예]

## -도보슈

각 방면의 전문가 집단 쇼군의 비서관 일인일기 ~아미(阿彌)  
가마쿠라 신불교 시종(時宗)에서 유래-스님 형상

## -이에모토

각 예능 유파의 종가집 교수권과 면허권 사범/스승과 문하  
생 엄격한 수직관계 도제관계

# 문제지 25항

- 일본전통문화예능 담당자= 도보슈(同朋衆)
- 일본전통예능의 계승 방식= 이에모토(家元) 제도
- 다도= 센노리큐(千利休), 일기일회(一期一會, 이치고이치에)  
4규-화경청적(和敬清寂)
- 우키요에= 니시키에(錦繪), 가쓰시카 호쿠사이(葛飾北齋),  
안도 히로시게(安藤廣重)[우타가와 히로시게(歌川廣重)]
- 정원= 신덴즈쿠리(寢殿造)식, 池泉식[회유식, 주유식, 정토교사원식],  
가레산수(枯山水)식[池庭식, 禪院식], 로지식 정원(露地/路地)[차니와(茶庭)]  
\*縮景 \*借景

# 연중행사

춘하추동      전반기/후반기(추켄/오세이보)      1월~12월

- 1월 하쓰모우데(初詣), 오세치(節)요리, 가도마쓰(門松), 가가미모치(鏡餅),
- 2월 세쓰분(節分), 3월 히나마쓰리(雛祭)/모모노셋쿠,
- 5월 고이노보리/단고노셋쿠, 6월 치노와(茅輪),
- 7월 다나바타(七夕), 8월 오봉(盆),
- 9월 중양절(重陽節), 11월 시치고산(七五三),
- 12월 도시코시소바, 제야의 종

# 도보슈 이에모토

- 1-1 쇼군의 측근에서 의례나 예능을 담당, 무로마치시대의 문화 발전에 큰 족적, 승려의 신분(형상), 이름에는 ~아미(阿彌), 노(能)나 다도, 이케바나, 미술품이나 당물(唐物) 등의 감정, 그 밖에 예능이나 잡역을 담당하는 사람들은? **도보슈(同朋衆)**
- 2 일본의 다도를 완성시킨 인물, 다성(茶聖)이라 불리는 인물은? **센노리큐(千利休)**
- 3 다도의 정신을 나타내는 말은? **일기일회(一期一會, 이치고이치에)**

# 다도 차노유(茶湯)

- 1-2 일본의 다도, 이케바나, 서도, 노(能), 무용, 각종 무술 등의 예능에서 각 유파의 시조를 계승한 직계 지도자[종가]. 문하생에게 예능을 전수. 문하생은 이에모토의 권위를 존중하고 제자로서 의무 서약. 각 등급의 제자에게 사범의 면허발행권과 교수권 수여. 일본전통문화의 중요한 계승 시스템?

## 이에모토(家元)제도

- 2 일본의 다도를 완성시킨 인물, 다성(茶聖)이라 불리는 인물은?  
센노리큐(千利休) 三千家[裏센케 表~ 武者小路~ 무샤노코지]
- 3 다도의 정신을 나타내는 말은?  
일기일회(一期一會, 이치고이치에) [4규-和敬清寂]

# 다도 일기일회 이치고이치에 화경청적



# 다실 니지리구치 60\*60 평등 겸손



[그림8. 니지리구치]

# 우키요에

- 4 우키요에의 다른 이름으로, 여러 가지 색으로 찍어 내어 마치 화려한 **비단**처럼 아름답다고 하여 붙여진 미칭은? **니시키에(錦繪) 憂(浮)世繪**
- 5 특수한 묘사법을 개발한 인물로, <호쿠사이 만화> <호쿠사이 스케치> <부악삼십육경> <개인 날의 후지산> <가나가와의 파도> 등의 작가는? **가쓰시카 호쿠사이(葛飾北齋)**
- 6 풍경화의 완성자, <동해도오십삼차>의 작가는?  
**안도 히로시게(安藤廣重)[=우타가와 히로시게(歌川廣重)]**

# 동도(에도) 우에노의 하나미



# 우키요에 가쓰시카 호쿠사이 드뷔시 바다 교향곡



붉은 후지 부악36경 富嶽 富士山



# 안도 히로시게/우타가와와 히로시게



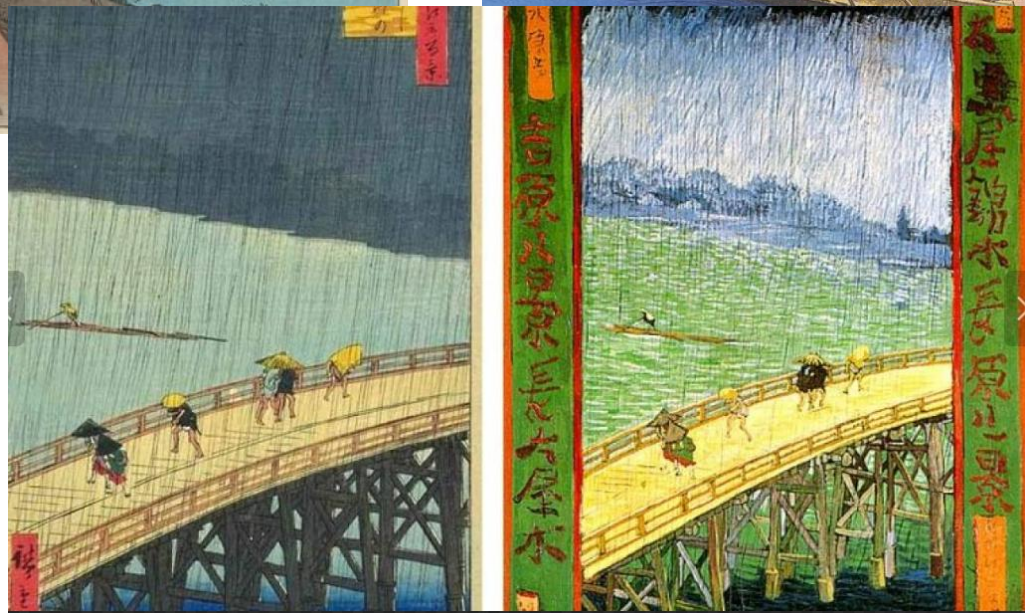
# 안도 히로시게 동해도53차 吉田 豊川橋



# 히로시게



# 우키요에와 자포니즘 고흐 등 후기인상파





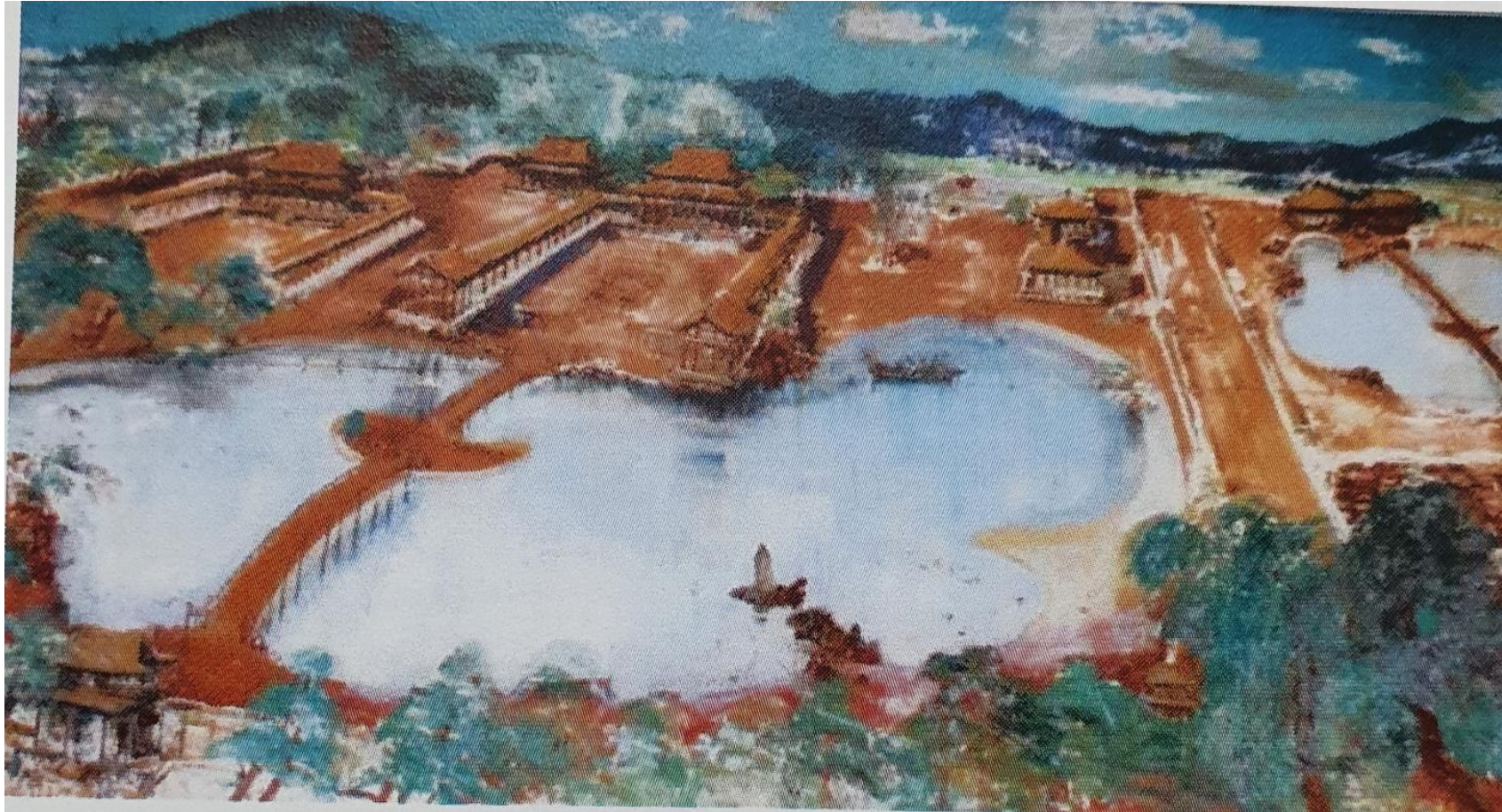
# 정원-회유식



# 정원

- 10 극락정토를 재현해 놓은 정원으로 모쓰지(毛越寺)의 정원이 유명 **정토교 사원식 정원**
- 11모래나 잘게 부순 하얀 돌을 바다나 강물 모양이 나도록 깔아 두는 형식으로서, 물이 없으면서도 연못이나 바다를 상상할 수 있도록 하는 정원. **가레산스이(枯山水)식 정원**
- 12 다실에 딸린 정원, 다도의 정원이라는 뜻에서 '자니와(茶庭)이라고 함. **로지(露地)식 정원**     **路地**

# 정토교사원





石庭





쓰쿠바이(蹲踞, 蹲) 吾唯足知

교요치(鏡容池)

회유식정원



# 회유식정원

## 지센회유식(池泉回遊式)의 정원의 사례 - 히로시마 공항 옆 미하라 성터의 정원

- 초기 단계에는  
주유식(舟遊式)  
의 연못과 샘으로  
구성된 경우가  
많았다.
- 이윽고  
회유식(回遊式)  
으로 변화해  
남북조와  
무로마치 시대의  
지센회유식(池泉  
回遊式)의 정원  
조성으로  
이어지고 있다.



료안지(龍安寺) 방장 후스마에 금강산  
다실 정원=茶庭 懷石요리 \*會席요리



# 가례산스이(桔山水) 정원 석정



# 가례산스이 정원



# 석정



우주의 원리를 상징화했다는 료안지(靈安寺)의 선원식 정원



# 교토 다이토쿠지(大徳寺)



교토 다이토쿠지(大徳寺) 서원정의 가래산수재  
출처: 写真web(<http://intojapanwaku.com/>)



연중행사 전반기 1월~6월

# 연중행사 1월 오쇼가쓰(正月)

- 13 새해에 처음으로 신사나 절에 참배하는 것 하쓰모우데(初詣)
- 14 설날에 먹는 특별한 명절 음식 오세치(節)요리
- 15 정초에 대나무, 소나무 등으로 만들어 문 앞에 두는 장식, 정월신(조상신)을 맞이하기 위한 의식용 장식물. 가도마쓰(門松)
- 16 정초에 신에게 바치는 둥근 거울 모양의 떡 가가미모치(鏡餅)

# 연하장 1/1

# 오카에시 문화 返 恩/仇

1月  
睦月 むつき

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

小正月・左義長・なまはげ(秋田)  
初閻魔・藪入り

十日えびす(大阪)  
鏡開き

初葺師・十日えびす(京都)  
入日・七草  
小寒

元日・年賀状・初詣  
初夢・書初め・だるま市

1日  
年賀状

**日本人は言葉に魂を込めた**

一年のはじめには、年賀状を送るのが習わしになっているが、これは相手の幸せを願う、美しい習慣といえる。

古代の日本人は、言葉そのものに霊的な力があり、魂が宿っていると考えていた。発した言葉がそのまま現実となり、人の幸せや不幸に直接関係すると信じていたのである。

そのため、悪い結果を招くとされる言葉は忌み言葉として極力使わないこととしたし、逆に良い結果を招くとされるめでたい言葉は積極的に使うこととした。

年賀状に必ず「おめでとう」と書くのは、「おめでと〜う」という言葉を相手に送ること、相手の新しい一年がめでたくなると信じる気持ちからである。

だから、どんなに通り一遍な言葉だと思っても、そうした意味を汲み取り、年賀状には、心を込めた「おめでとう」の一言を添えたい。それによって相手は、めでたい一年を送ることができたらう。

**言霊信仰から生まれた年賀状**

「明けましておめでとう」と賀状に記す理由とは？

34

# 하쓰모우데 1/1



## マメ知識

### 神社での参拝は 二礼二拍手一拝が基本

神社に参拝するときの正式な作法を、**二礼二拍手一拝**という。まず**賽銭**を入れ、二度礼をし、**祓詞**を唱える。つぎに二度手を打つ。これを**拍手**といい、手を肩幅ぐらいに広げてゆっくりと行なう。このとき同時に、心のなかで神様への願い事を唱えるといい。その後、もう一度礼をする。神前にいるのだから、背筋を伸ばし、きちんとした姿勢を心がける。礼をするときは、45度くらいまで腰を折るのが適当だろう。そして参拝でなにより重要なのは、心の底から神様を敬う気持ちを込めること。どんなに素晴らしい拝礼でも、心がなければ願いは届かないものだ。

### 【神前で唱える祓詞】

非けまとも真き伊弉諾大神、伊弉册大神、筑紫の日向の橘小戸の阿波岐原に筑紫の日向の橘小戸の大神等、諸の御事、御あむをば、祓へ給ひ清め給へと白々とを聞こし召せと念み奉るも白す。

新年をむかえ、はじめて社寺へ参ることを**初詣**という。初詣の習慣は明治から大正にかけて広まったもので、それ以前は、参拝に出るのではなく、新しい年の神(年神様)を自宅にむかえて祀るのが一般的だった。

初詣の由来には、二つの説がある。一つは、新しい年の神をむかえるために、大晦日に氏神様の社に籠もった年籠りの習慣が、いつしか氏神様へ参る形に変化したという説。かつて一続きとされていた大晦日の夕方から元日の未明にかけての時間を、一年の区切りとして分割しようとする考えが徐々に一般化したようである。

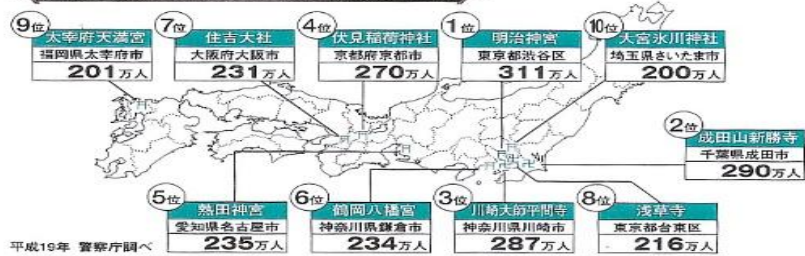
二つめは、陰陽道の**恵方参り**に由来するという説だ。恵方とは、年神様が回る方向のことで、非常に縁起がよい。そのため、恵方にある社寺へ参っていたのが、いつしか初詣になったという。

### 近代に一般化した新しい風習

## 1日 初詣

そんな初詣だが、最近では、明治神宮などの有名な社寺へ参るのが人気となっている。

### 初詣の人出が多い神社ベスト10



正月に社寺へ詣でる習慣はいつ頃始まったのか?

# かどまっす

12月  
師走



## 年末の大掃除は 一家の主がすべき仕事

正月をむかえるために、神棚や仏壇をはじめとして、家の内外を大掃除することを「すす払い」という。正月は大切な年神様をむかえる行事だから、その前に徹底的に掃き浄めるのである。江戸城のしきたりにもとづいて、かつては12月13日がすす払いの日に決められていたが、最近は年末に行なう家が多い。すす払いが終わると門松を立て、注連縄を張り、餅をつけて本格的な正月準備を行なう。これらの正月準備は、すべて一家の主の仕事とされる。年神様は女性なので、女性が正月準備をした家には嫌がってやってきてくれないのである。

## 28日頃 門松

年神様はゆとりをもってむかえる

年末には、門の前に門松を飾る。三本の青竹（天・地・人をあらわす）の周りに梅、松を配置し、正月に備えるのだ。

門松は、年神様をむかえるための大事な依り代。つまり、年神様が迷わず降りてこられるようにするための目印であり、鎮座するところなのである。

門松用の松を、一月三日に山から切り出してくることを「松むかえ」というが、最近は一八日頃に行なう家が多い。ただ、大晦日に門松を立てるのは、「夜飾り」といって、よくないこととされる。正月まで残り一日しかないのでは、年神様を迎えるにあたって誠意に欠けるからである。また、二九日に立てるのは「九松」といい、「苦待つ」に通じるため嫌われている。

なお、門松のような神様の依り代は松の木でなくてはいけないと思いがちだが、常緑樹ならなんでもよい。神社では、神の依り代として、樹の木を使っている。

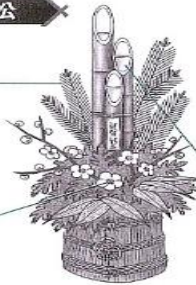
### 神様の目印となる門松

#### 松

松は樹齢が長いので、長寿を意味する。また、松のような常緑樹には神様が宿るといふ言い伝えもある

#### 梅

梅は新年の早い時期に花を咲かせる。そのため、めでたいものとして飾られる



門松は玄関にむかって左右に一つずつ並べることが一般的。左側を雄松、右側を雌松といい、これが神様が天から降りてくる時の目印になる

#### 竹

真っ直ぐに伸びた竹は、みずみずしい生命力に溢れたさまをイメージさせる

三十一日に立てるのが  
よくないといわれるワケ

# 1월 가도마쓰(門松) 송죽매 松竹梅

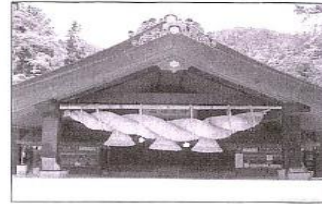


## 第2章 年中行事のしきたり

### マメ知識

#### 日本一大きな 出雲大社の注連縄

島根県にある出雲大社は縁結びの神・天國主命を祀ることで広く知られているが、神楽殿に飾られている注連縄のサイズは驚異的である。なんと長さ13メートル、胴回り8メートル、重さ5トンもあるのだ。これほど大きな注連縄は珍しく、長さと同回りは日本一。通常は左回りであるはずの渦の向きが逆になっていることも、特徴の一つといえる。この注連縄には、興味深いいわれがある。注連縄に向かって賽銭を投げたとき、コインがうまくさされれば願いがかなうというジンクスがあるらしい。そのせいもあってか、訪れる人は後を絶たない。



邪悪な者を阻止し、神様を招く

28日頃  
注連縄

神社の鳥居や拝殿の入口、神木などに張られている注連縄は、神様の世界と下界とを隔てるための祭祀具で、この縄から先は神聖な領域だということを示している。

注連縄が張られた結界のなかには、悪霊や邪鬼が近づけない。神様の神聖な領域には、魔物を寄せつけないうちからがあるわけだ。

また、注連縄を張ることで、そこに神を招くちからが生じるといわれる。

たとえば、正月飾りに注連縄を使うのは、注連縄を張れば年神様を招くちからが増すと信じられているからである。

注連縄の縄はどれも左巻きに渦を巻いているが、これは神様を招く回転方向が左回りとしてされていること由来する。相撲の力士の足の運び方や盆踊りの輪の向きが左回りなのも、これと同じ理由からである。

左巻きの縄に、三本、五本、七本の切り下げが垂らされることから、注連縄を「七五三縄」と書くこともある。

#### いろいろな注連縄



注連縄には前垂注連、大根注連、牛蒡注連、丸注連、輪注連などがあり、神社や家庭の神棚に用いる場合には、むかって右に太いほうを取りつける。商家の場合は、細いほうを船の舳先に見立て、入口に近い方を太くすることがある。

神社や神棚に張られる  
縄の役割とは？

# 오토소 오세치(節)

## 第2章 年中行事のしきたり

### マメ知識

#### お節料理では「四の重」といわない

正月用の料理をお節というが、これは「御節句」を略したもの。もともとお節は神様への供物であり、身内や友人と分け合うごちそうだった。また、お節は保存食でもあったため、重箱に詰めるのが普通である。一の重には黒豆、数の子、昆布巻きなどの口取り、二の重には鯛や鱈などの焼き物、三の重には酢の物、四の重にはゴボウ、ヤツガシラ、里芋などの煮物を、縁起を担いで奇数個詰める。「四」の字を使わないのは、「死」に通じて縁起が悪いからとされる。ちなみに、必ず田作り（ゴマメ）が入るのは、ゴマメが田を耕すときの祝い魚だからである。



1日

## お屠蘇

飲めば無病息災の効果がある

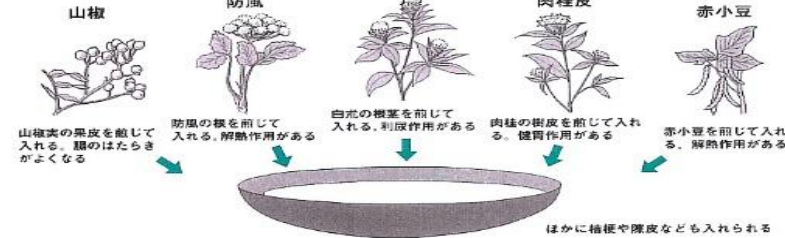
正月にお屠蘇を飲む風習は、「厄払いになり、その年は病気をしない」といって言い伝えられてきた。古くからの日本の伝統として知られている。

これを儀礼的な日本酒と思っている人も多いかもしれないが、タダの清酒ではない。「屠蘇」の字には「死んだ者も生き返る」といった意味合いがあり、事実、山椒、防風、白朮、桔梗、陳皮、肉桂皮、赤小豆などが調合された漢方薬を含む薬効酒なのだ。

この屠蘇散とよばれる漢方薬の調合法を記したのは、魏の雑作という名医だったらしい。もともと中国で始まった風習だったが、いまは中国にはなく、日本だけの風習になっている。屠蘇散は薬局で売っているので、手軽に利用できるだろう。

なお、お屠蘇には、年少者から飲んでいくという作法がある。これは、年少者の力を年長者が譲り受けるためとか、年少者の成長を喜ぶ意味合いがあるとされている。

### お屠蘇の調合



形式的なものではなく  
ちゃんと薬効がある

# 1월 오세치(요리) 火 에비/타이/마메/곤부(고부) 청어알 연근



# 찬합 주바코(重箱) 四重 시주 → 온주바코



습합문화    꺾습    신불습합    신유습합  
본지수적설    반본지수적설    부처와 신

- 부처 우위의 인식
- 신 우위의 인식    가마쿠라 몽골침입    원구(元寇, 1274/1281) 이 후    이세(伊勢)신궁 중심    이세신도
- 정창원의 습합 사례
- 佐波理加盤    사하리    사바리    사발

# 정창원보물 동대사 세계유산 구성 나라의 역사유적군



佐波理加盤 第7号

さはりのかばん

用途：飲食具

技法：金工

倉番：南倉 47

寸法：径17.1 総高14.0

材質・技法：青銅鑄造 轆轤挽

解説文 出陳年

佐波理でできた蓋付きの鉢。蓋と身には高台が付き、蓋は逆さにすると器として使用できる。8口の鉢が入れ子状に収まる。

# 사발 → 찬합



# 바둑판과 바둑알 외척 후지와라씨

- 의자왕-→나카토미노 가마타리(中臣鎌足)
- [후지와라노 가마타리(藤原鎌足)] \*후지와라씨의 시조
- 을사의 변(645)->다이카개신(大化改新)의 주역
- 외척
- 후지와라노 후히토(不比等): 쇼무천황, 고켄(孝謙)천황의 외조부
- 미야코(宮子)-몬무(文武)천황의 부인 쇼무천황 생모 \*大寶율령
- 고묘시(光明子)-쇼무(聖武)천황의 황후 \*도다이지(東大寺)

# 하쓰유메 초몽

## 第2章 年中行事のしきたり

31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18



左高長祭り (どんと焼き)

初観音

大寒・初大師・初庚申

初地蔵

初天神

初不動

2日

初夢

2日夜の夢で一年の計を占う

初夢は「富士、鷹、茄子」がおめでたいとされている。一番縁起がいいのは富士山の夢、二番めは鷹の夢、三番めが茄子の夢というわけだ。

この順位の根拠としては、次の二つの説があげられる。

まず、富士、鷹、茄子は、すべて徳川家康の出身地、駿府の名物である。そこで、これらの夢を見ると家康のように立身出世できると伝えられてきたのではないかと。別の説によると、三つとも仇討ちに関係しているという。

富士は、曾我兄弟が富士山の裾野ではたした仇討ちをし、鷹は、赤穂浪士の主君・浅野家の紋所が鷹であることから、四十七士の討ち入りをさす。茄子は、渡辺数馬が河合又五郎を討った伊賀の名産品だという。

どちらも真相ははっきりしないが、よい初夢を見たいなら、七福神が宝船に乗っている絵を枕下に置くと効果があるそうだ。

### おめでたい初夢(三大仇討ち説)

鷹



赤穂四十七士が吉良上野介を討つ。鷹は赤穂浪士の主君、浅野内膳頭の家紋

2

富士



鎌倉初期の武士、曾我兄弟が父親の仇である上杉祐経を富士の裾野で討つ

1

茄子



渡辺数馬が茄子の産地である伊賀で仇敵、河合又五郎を討つ

3

なぜ「富士、鷹、三茄子」といわれるのか？

# 가가미모치 가가미비라키

## 第2章 年中行事のしきたり

### マナ知識

#### 東日本は切り餅、西日本は丸餅

雑煮には、地域ごとの特色があらわれる。一般に、東日本では四角い切り餅で澄まし汁仕立てが、西日本では丸餅で味噌仕立てのものが多い。境界はというと、富山県から三重県のあたりで南北に分かれるとされている。丸い餅は、日本古来の伝統にもとづくものだ。もともと雑煮は、神様への供物を下げ、それを小さな丸い餅と合わせてごった煮した食べ物だった。西日本にはそうした伝統が色濃く残っているのだろう。一方、四角い切り餅は、武士の携帯食に由来する。武士は戦場への保存食として四角い餅をもっていった。東日本では、武家礼法の影響が大きかったというわけだ。



正月には、円形の大きな餅の上に小さな餅を重ねて飾りを施した鏡餅を、神棚や仏壇、玄関などに飾る。かつて餅は高級品だったため、神様への感謝の気持ちを込めて供物として捧げたのである。

その鏡餅を一月一日にたたき割り、煮たり焼いたりして食べることを鏡開きという。鏡開きは江戸時代の武家の習慣で、刃物を使わずに木槌で割った。

餅を割るのに、なぜ「開き」なのかというと、忌み言葉である「切る」「割る」を避けようとする意図があるからだ。

正月用についた餅は、一〇日も経てば固くなる。つきたてのおいしい餅ではなく、わざわざ固くなるまで目を置いてから食べるのは理にかなわない気がするが、これにも意味がある。

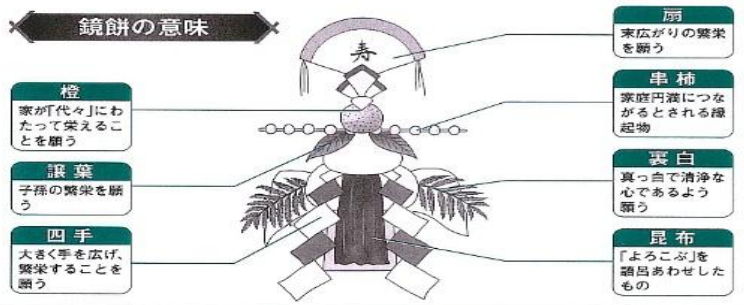
神棚に捧げた供物である餅を数日間供えておくことで、その餅は神様からのありがたいお下がりになるからなのである。

#### 鏡開きの餅は神様のお下がり品

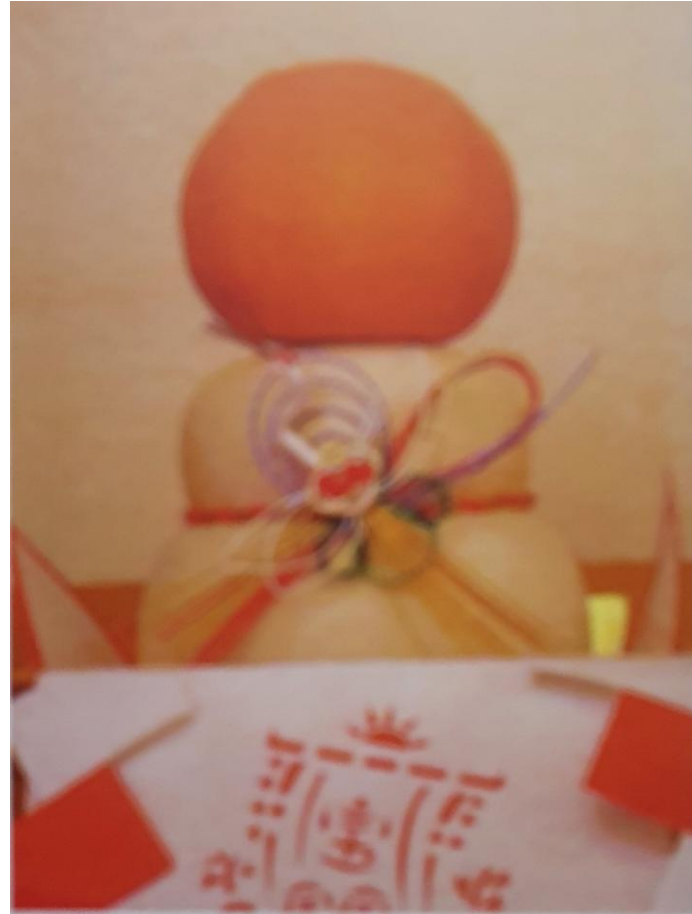
## 11日 鏡開き

古くて硬い餅をわざわざ割って食べるワケ

### 鏡餅の意味



# 1월 가가미모치 형상-농경신 수신 뱀



가가미=거울 해와 달 \*橘 梅→櫻  
\*삼종의 신기(神器) 거울=제사권=해/태양



[그림5. 가가미모치]

# 연중행사 2~6월

- 17 입춘 전날에 하는 행사, 귀신을 쫓기 위해 볶은 콩을 뿌리는 '마메마키' 행사를 함.

**세쓰분(節分)** 마메마키 후쿠(福)와 우치, 오니(鬼)와 소토

- 18 삼월 삼짇날에 하는 모모노셋쿠로 어린 여자아이를 위한 행사, 히나단에 히나닌교를 장식

**히나마쓰리(雛祭)**

- 19 단오날에 하는 행사로 남자아이들의 씩씩한 기상을 기원하는 행사, 5월 인형과 함께 잉어모양의 연을 장식 **고이노보리**
- 20 6월 그믐날에 각 신사에서 여름을 무사히 지내기를 기원하는 뜻으로 띠(茅) 풀로 엮은 고리를 통과하는 의식 **치노와(茅輪)**

# 절분 세쓰분 마메마키

2月

如月 きさらぎ

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

さっぽろ雪まつり(札幌)

節分 まつだ  
立春 りっしゅん

事始め・針供養

建国記念日

初午

バレンタインデー

祈年祭

3日頃

節分

悪霊退散に効果のあるイワシ

節分には、「福は内、鬼は外」と叫びながら豆をまく。毎年、大きな神社で年男、年女の有名人が豆まきしている光景も見慣れたものになってきた。

節分は、中国から伝わった疫病や災害をもたらす鬼を祓う儀式に由来する。この儀式は追儺とよばれ、平安時代には、大晦日の宮中で行なわれていた。それが室町時代になると豆まきに変化して民間にも伝わり、立春前日の節分の日に行なわれるようになったという。

鬼祓いに豆が使われるのは、鞍馬山の鬼退治の際、愚沙門天が「目に豆をぶつけるといい」と助言した伝説によるとされる。鬼の目(摩目)に豆を投げつけることで、「摩滅」になるといった語呂合わせだったのではないかともしう。また、玄關口にヒイラギの枝に刺したイワシの頭を立てておくのは、ヒイラギのトゲとイワシの悪臭によって、鬼を追い払うためだ。鬼はイワシを焼いた煙の臭いが苦手なので、家に入れなくなるのである。

節分の豆まき



一般の家庭では「福は内、鬼は外」と大声で叫びながら豆をまくが、成田山新勝寺などでは鬼を悪者としないので、「鬼は外」とはいわずに「福は内」とだけ叫ぶ

怖い鬼たちを退散させる  
豆以外の必需品とは？

# 마메마키



후쿠와우치, 오니와소토 福 鬼  
成田山 新勝寺-'후쿠와우치'만 오니=악 아님

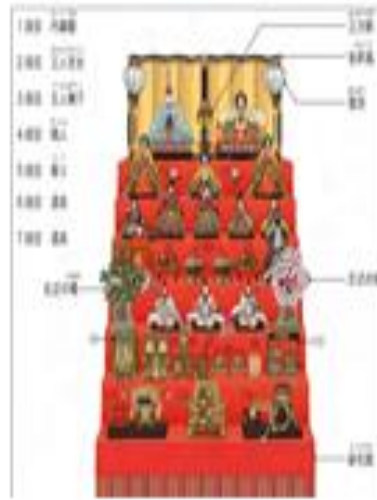


(출처: [伏見稲荷大社 節分祭 2015年 | 京都旅屋](#))

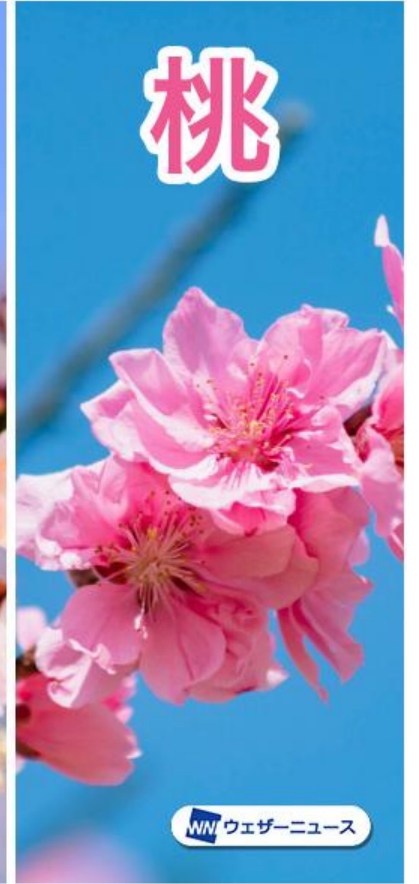
# 3월 히나닌교



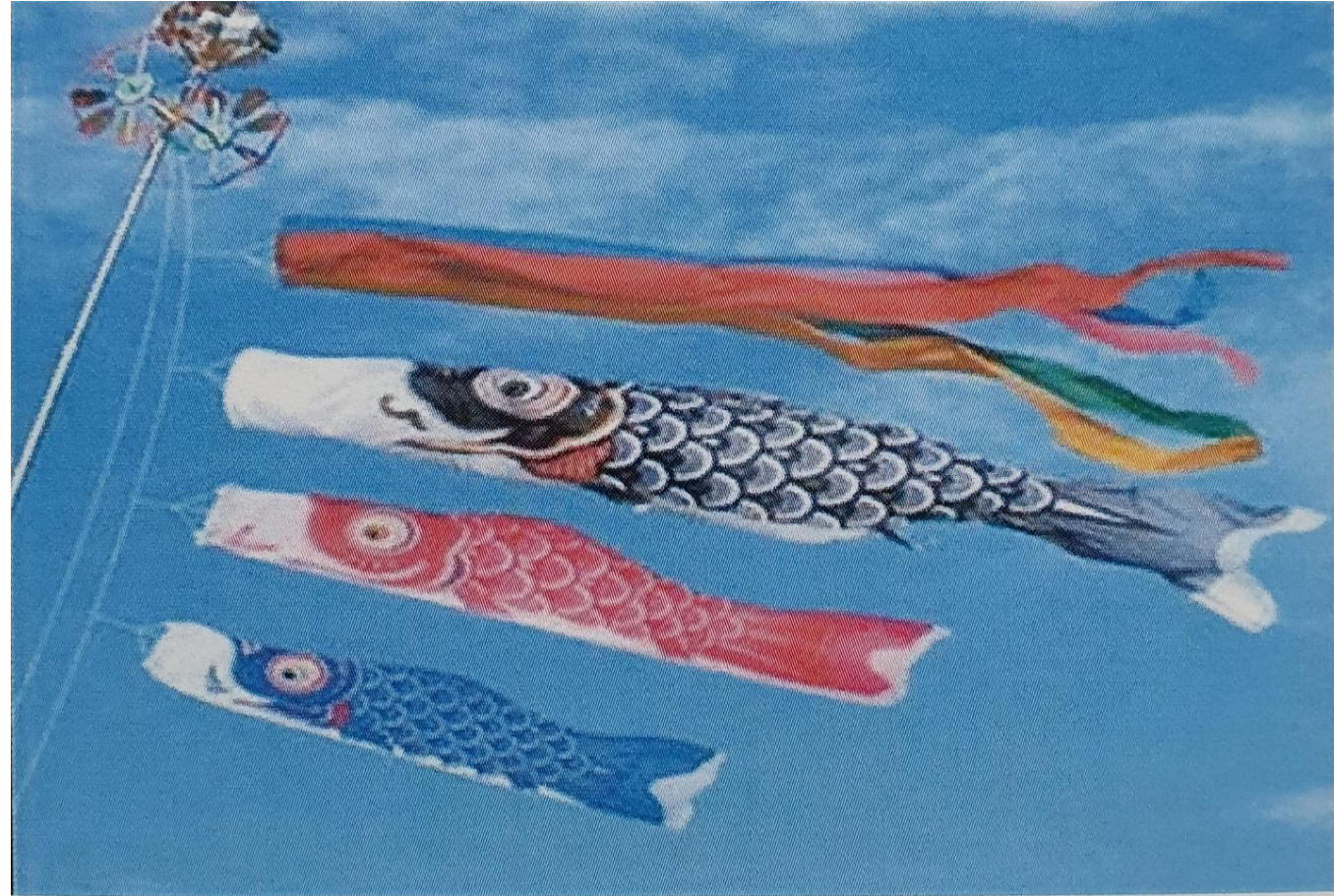
# 히나단 히나 3단 5단 7단 15명



# 3월 모모노셋쿠(桃節句) 무릉도원



5월 고이노보리 등용문 잉어- > 영



# 우타가와(안도) 히로시게

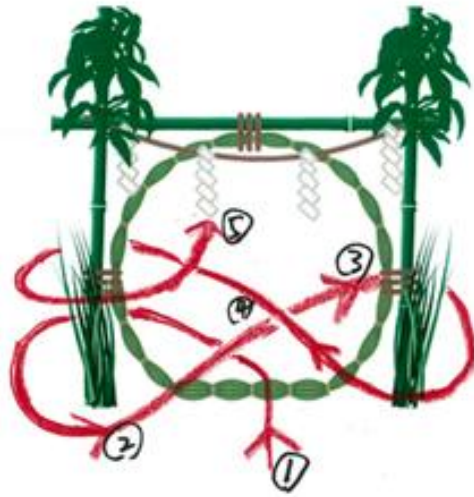


6월 치노와 茅輪

11월 치에노와 智慧輪



# 치노와 6월 미나즈키(水無月) \*神無月



[그림7. 지노와]



EOS/Kokugakuin University

# 오추겐(中元) 오세이보

12月

師走 しわす

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

## 納めの水天宮

## 事納め・針供養

大雪 たいせつ

## すす払い・歳暮・正月事始め

## 世田谷ボロ市(東京)

## 念仏の口止め

## 羽子板市(東京・浅草寺)

贈り物は一年間の感謝のしるし

初旬～  
20日頃

お歳暮

お世話になった人や仕事につきあいのある人には、年の暮れに感謝の意を表してお歳暮を贈る。「一年間の貸し借りをすっきりさせてから年を締めくくろう」という日本人の伝統的な考え方にもとづく風習だ。

毎年一二月になると、デパートはお歳暮をを求める人でごった返すが、そんな光景を目にして年の終わりを実感する人も多いだろう。かつて年の暮れには、年神様や先祖の霊をむかえるための供物を家族で持ち寄っていた。仕事などで帰省できない子どもや親戚は、本家へ供物を贈ることになる。それがやがてお世話になった人へ感謝の気持ちを込めて贈り物をするという風習に変わっていった。

昔はお歳暮の品といえば、塩サケや塩ブりが主流だった。祭壇の供物に最適であるばかりか、保存がきくので正月の食卓におかずにも使えるからである。

お歳暮を受け取った場合、お返しは必要ないが、気になるようなら礼状を出すよ。

### お歳暮とお中元

	お歳暮	お中元
由来	一年の締めくくりとして感謝の気持ちをあらわしたもの	中国の曆法「三元節」と日本の盂蘭盆会の贈答習慣が融合したもの
贈る時期	12月上旬～12月25日	7月上旬～8月15日
表書き	12月上旬～12月25日頃 →「御歳暮」 1月1日～1月7日 →「御年賀」	7月上旬～7月15日 →「御中元」 7月16日～8月8日 →「暑中見舞い」 8月9日～8月下旬 →「残暑見舞い」



お歳暮とお中元は、合せてお歳暮とも呼ばれる。どちらも日頃お世話になっている人に感謝の意を表して物を贈る行為、またはその品物をさす

「年の暮れ」に贈り物をする  
風習の由来とは？

# 연중행사 하반기 7~11월

- 21 견우와 직녀의 만남, 쇼쿠조사이(織女祭), 호시마쓰리(星祭)라고 함. **다나바타(七夕)**
- 22 (우리의 추석과 같은 성격의) 저승의 조상들을 맞이하는 제사, 봉오도리(봉춤) **오봉(盆)**
- 23 음력 9월 9일의 행사, 양수 9가 겹쳐 있어서 좋은 날이라 여겨 떡이나 감주를 들면서 축하함. **중양절(重陽節)**
- 24 3,5,7세의 아이들의 성장을 축하하는 행사(11월) **시치고산(七五三)**

8월 오봉(盆) 불교 盂蘭盆齋 7/15 8/15 9/15  
오이=말(馬) 가지=소(牛) 迎火/送火



# 무카에비/13일 오쿠리비/15일 뽕오도리



# 뽕오도리 아와오도리 아와(阿波)=도쿠시마



마쓰리 祭 祭事(마쓰리고토)=정치  
3대 마쓰리(도쿄/오사카/교토) 神無月



# 기온사=야사카신사



[ 야사카신사 ]



[https://www.kr.emb-japan.go.jp/intro/577/images/japannews\\_577-02b.jpg](https://www.kr.emb-japan.go.jp/intro/577/images/japannews_577-02b.jpg)

11월 15일 시치고산(七五三) 남녀/남/여



# 11월 시치고산(七五三)



6월 치노와(茅輪) 11월 치에노와(知慧輪)  
우지(宇治)황자 교토 우지신사 학문의 신



# 연중행사 12월

- 25 설달 그믐날 마지막 밤에 묵은해를 보내고 새해를 맞으며 밤참으로 국수를 먹는 풍습  
**도시코시소바**
- 제야(除夜)의 종
- 하쓰모우데(初詣)
- 오세이보(歲暮) 연하장  
가도마쓰 시메나와 대청소(스스하라이)

# 12월 도시코시소바 ~자카나(사케/부리)



# 12월 도시코시소바 도시코시자카나(사케/부리)

年取り魚（としとりざかな）は[大晦日](#)、[年越しの食事](#)につける[魚](#)<sup>[1]</sup>。年越魚<sup>[2]</sup>、正月魚（しょうがつうお）ともいう



ブリの照り焼き



焼き鮭

# 오추겐 中元

## 오세이보

12月

師走 しわす

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

### 納めの水天宮

### 事納め・針供養

たいせつ  
大雪

### すす払い・歳暮・正月事始め

### 世田谷ボロ市(東京)

### 念仏の口止め

### 羽子板市(東京・浅草寺)

贈り物は一年間の感謝のしるし

初旬~  
20日頃

お歳暮

お世話になった人や仕事上つきあいのある人には、年の暮れに感謝の意を表してお歳暮を贈る。「一年間の貸し借りをすつきりさせてから年を締めくくろう」という日本人の伝統的な考え方にもとづく風習だ。

毎年一二月になると、デパートはお歳暮を求める人でごった返すが、そんな光景を目にして年の終わりを実感する人も多いだろう。かつて年の暮れには、年神様や先祖の霊をむかえるための供物を家族で持ち寄っていた。仕事などで帰省できない子どもや親戚は、本家へ供物を贈ることになる。それがやがてお世話になった人へ感謝の気持ちを込めて贈り物をするという風習に変わっていった。

昔はお歳暮の品といえば、塩ザケや塩ブりが主流だった。祭壇の供物に最適であるばかりか、保存がきくので正月の食卓のおかずにも使えるからである。

お歳暮を受け取った場合、お返しは必要ないが、気になるようなら礼状を出すといよい。

### お歳暮とお中元

	お歳暮	お中元
由来	一年の締めくくりとして感謝の気持ちをあらわしたもの	中国の唐法「三元節」と日本の盂蘭盆会の贈答習慣が融合したもの
贈る時期	12月上旬~12月25日	7月上旬~8月15日
表書き	12月上旬~12月25日頃 →「御歳暮」 1月1日~1月7日 →「御年賀」	7月上旬~7月15日 →「御中元」 7月16日~8月8日 →「暑中見舞い」 8月9日~8月下旬 →「残暑見舞い」



お歳暮とお中元は、合せて盆歳暮とも呼ばれる。どちらも日頃お世話になっている人に感謝の意を表して物を贈る行為、またはその品物をさす

「年の暮れ」に贈り物をする風習の由来とは？

# 加多マツ

12月  
師走



## 年末の大掃除は 一家の主がすべき仕事

正月をむかえるために、神棚や仏壇をはじめとして、家の内外を大掃除することを「すす払い」という。正月は大切な年神様をむかえる行事だから、その前に徹底的に掃き浄めるのである。江戸城のしきたりにもとづいて、かつては12月13日がすす払いの日に決められていたが、最近は年末に行なう家が多い。すす払いが終わると門松を立て、注連縄を張り、餅をつけて本格的な正月準備を行なう。これらの正月準備は、すべて一家の主の仕事とされる。年神様は女性なので、女性が正月準備をした家には嫌がってやってきてくれないのである。

## 28日頃 門松

### 年神様はゆとりをもってむかえる

年末には、門の前に門松を飾る。三本の青竹（天・地・人をあらわす）の周りに梅、松を配置し、正月に備えるのだ。

門松は、年神様をむかえるための大事な依り代。つまり、年神様が迷わず降りてこられるようにするための目印であり、鎮座するところなのである。

門松用の松を、一二月三日に山から切り出してくることを「松むかえ」というが、最近は一八日頃に行なう家が多い。ただ、大晦日に門松を立てるのは、「夜飾り」といって、よくないこととされる。正月まで残り一日しかないのでは、年神様を迎えるにあたって誠意に欠けるからである。また、二九日に立てるのは「九松」といい、「苦待つ」に通じるため嫌われている。

なお、門松のような神様の依り代は松の木でなくてはいけないと思いがちだが、常緑樹ならなんでもよい。神社では、神の依り代として、樹の木を使っている。

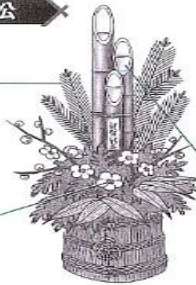
### 神様の目印となる門松

#### 松

松は樹齡が長いので、長寿を意味する。また、松のような常緑樹には神様が宿るといふ言い伝えもある

#### 梅

梅は新年の早い時期に花を咲かせる。そのため、めでたいものとして尊ばれる



門松は玄関にむかって左右に一つずつ並べることが一般的。左側を雄松、右側を雌松といい、これが神様が天から降りてくる時の目印になる

#### 竹

真っ直ぐに伸びた竹は、みずみずしい生命力に溢れたさまをイメージさせる

三十一日に立てるのが  
よくないといわれるワケ

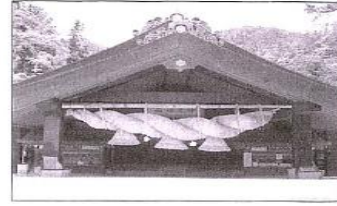
# 시메나와

## 第2章 年中行事のしきたり

### マメ知識

#### 日本一大きな 出雲大社の注連縄

島根県にある出雲大社は縁結びの神・大國主命を祀ることで広く知られているが、神楽殿に飾られている注連縄のサイズは驚異的である。なんと長さ13メートル、胴回り8メートル、重さ5トンもあるのだ。これほど大きな注連縄は珍しく、長さと同回りは日本一。通常は左回りであるはずの渦の向きが逆になっていることも、特徴の一つといえる。この注連縄には、興味深いいわれがある。注連縄に向かって賽銭を投げたとき、コインがうまくさされば願いがかなうというジンクスがあるらしい。そのせいもあってか、訪れる人は後を絶たない。



28日頃

## 注連縄

邪悪な者を阻止し、神様を招く

神社の鳥居や拝殿の入口、神木などに張られている注連縄は、神様の世界と下界とを隔てるための祭祀具で、この縄から先は神聖な領域だということを示している。

注連縄が張られた結界のなかには、悪霊や邪鬼が近づけない。神様の神聖な領域には、魔物を寄せつけないちからがあるわけだ。

また、注連縄を張ることで、そこに神を招くちからが生じるともいわれる。

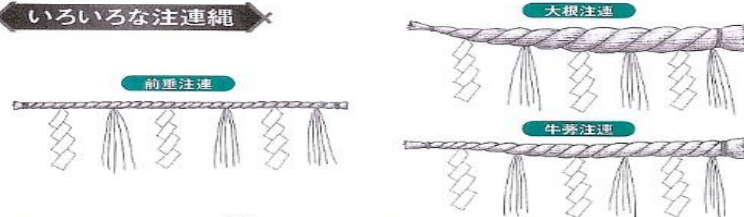
たとえば、正月飾りに注連縄を使うのは、注連縄を張れば年神様を招くちからが増すと信じられているからである。

注連縄の縄はどれも左巻きに渦を巻いているが、これは神様を招く回転方向が左回りとされていることに由来する。相撲の力士の足の運び方や盆踊りの輪の向きが左回りなのも、これと同じ理由からである。

左巻きの縄に、三本、五本、七本の切り下げが垂らされることから、注連縄を「七五三縄」と書くこともある。

神社や神棚に張られる  
縄の役割とは？

### いろいろな注連縄



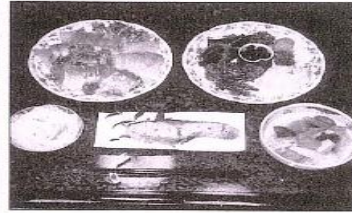
注連縄には前垂注連、大根注連、牛蒡注連、丸注連、輪注連などがあり、神社や家庭の神棚に用いる場合には、むかって右に太いほうを取りつける。商家の場合は、細いほうを船の船先に見立て、入口に近い方を太くすることがある

# 도시|코시|소바

12月  
節走

## マメ知識

### そば以外の年越し料理



大晦日の夜の食事は特別である。年越し料理といえばそばが有名だが、地方によってはそば以外の年越し料理を食べるところもある。東北地方の「年越し膳」、長野県伊那地方の「年取り膳」とよばれる料理などは有名だ。祝い事に欠かせない尾頭つきの魚とともに、昆布巻きやなますなどのごちそうが並ぶ。サケ、ブリ、イワシなどは「年魚」とよばれ、とくに縁起のいい食べ物とされている。この年越し料理の豪華さは、江戸時代まで日没が一日のはじまりとされていたことに起因する。つまり大晦日の夜は、すでに正月だったので、祝いの膳となったのである。

### さまざまに伝わる年越しそばの由来

大晦日に年越しそばを食べる習慣は、江戸時代に定着した。忙しい月末の夜中にそばを食べる、「三十日そば」という商家の風習の名残である。

ただ、年越しそばの由来については諸説入り乱れ、定説はない。一般的には、そばは細く長くのびることから、年越しそばを食べて寿命を延ばそうとする縁起担ぎとされている。

反対に、そばは切れやすいことから、悪運や災厄を断ち切るためともいわれる。

さらに、金銀細工師が金粉を集める際、水で練ったそばを金粉に押しつけて集めたことから、「そばには金を集める力がある」という言い伝えを信じたとする説も捨てきれない。

なお、引越しのときに近所への挨拶でそばを配る風習も、江戸時代末頃に始まっている。これは、そば（近所）に越してきたことに掛けて、「そばで末長いお付き合いをよろしく」という願いを込めた風習である。

31日

## 年越しそば

伸びやすいからいいのか、  
切れやすいからいいのか？

### 年越しそばを食べる理由



金粉集めに使われていた

↓  
金運を強めてくれる縁起物



そばは切れやすい

↓  
悪運や災厄との縁をきっぱり断ち切ってくれる



そばは細長くのびる

↓  
寿命が延び、家運が上向くようにと願う縁起担ぎ

# 제야의 종소리 불교 번뇌

## 第2章 年中行事のしきたり

### マメ知識

#### 火を焚いて神様をむかえる除夜祭

大晦日の夜に神社で行なわれる除夜祭では、夜通し火が焚かれ、神酒や甘酒が参拝客に振る舞われる。厄を落として、新しい年がよい年になるよう祈るのである。その起源は、神官や僧侶が翌年の幸運を祈って年籠りの祈禱を行ない、社前で火を焚いたことにある。昔の大晦日は、寝ずに物忌みをして過ごすのが習わしで、人々は神社に参拝して、社前に焚かれた火を分けてもらった。八坂神社のおけら参りでは、いまでも参拝客が神社の焚くおけら火を火縄につけて持ち帰っている。最近では、除夜祭から初詣へとそのまま移行することが多い。



31日

## 除夜の鐘

人間の煩惱も一〇八個ある

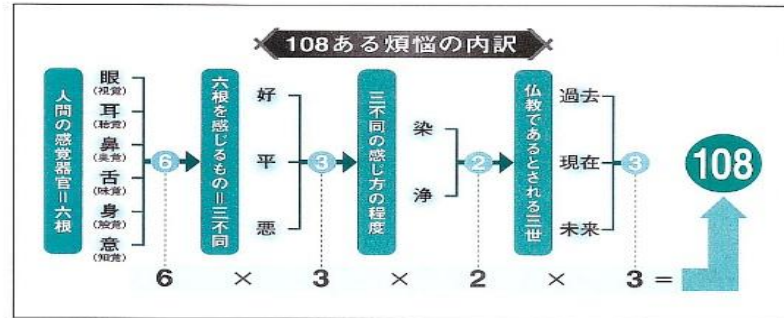
一月三十一日の夜には、除夜の鐘が一〇八回鳴らされる。「一〇八」と決まっているのは、人間の煩惱が一〇八個あると考えられているからだ。煩惱と同じ数だけ鐘を鳴らすことで、それを消していくのである。

ではなぜ、煩惱は一〇八個なのだろうか。

仏教では、煩惱の内訳を次のように説く。まず人間には、「眼、耳、鼻、舌、身、意」の六つの感覚器官がある。これを「六根」というが、六根が感じるものは「好、平、悪」の三に分けられる。そのため、六根が受け取った感覚は、六×三で一八通りとなる。

さらに、受け取り方の段階は、「染、浄」の二通りの程度があるとされ、「一八通りが二段階で、三六通りとなる。これらの感覚には、「過去、現在、未来」という三つの時間帯が存在し、それぞれが影響しあって人間の煩悩をなるとされる。三六通りの感覚が三つの時代から影響を受けるといふことは、三六×三で一〇八となる。

### 108ある煩惱の内訳



必ず一〇八回鳴るのは  
どうしてなのか？

# 하쓰모우데 1/1



## マメ知識

### 神社での参拝は 二礼二拍手一拝が基本

神社に参拝するときの正式な作法を、**二礼二拍手一拝**という。まず**賽銭**を入れ、二度礼をし、**祓詞**を唱える。つぎに二度手を打つ。これを**拍手**といい、手を肩幅ぐらいに広げてゆっくりと行なう。このとき同時に、心のなかで神様への願い事を唱えるといい。その後、もう一度礼をする。神前にいるのだから、背筋を伸ばし、きちんとした姿勢を心がける。礼をするときは、45度くらいまで腰を折るのが適当だろう。そして参拝でなにより重要なのは、心の底から神様を敬う気持ちを込めること。どんなに素晴らしい拝礼でも、心がなければ願いは届かないものだ。

**【神前で唱える祓詞】**

非けまとも真き伊弉諾大神、筑紫の日向の橘  
小戸の阿波岐原に筑紫の日向に生もてる祓  
戸の大神等、諸の御事、御、御あらむをば、祓  
へ給ひ清め給へと白す」とを聞こし召せと念み  
参り申す。

※ 長い、伊弉諾大神様が筑紫の日向の  
橘小戸の阿波岐原においで、禊ぎでお清いされ  
たごきにまられた神々よ、数々の罪穢れをお祓  
い、お清めください。

## 1日 初詣

### 近代に一般化した新しい風習

新年をむかえ、はじめて社寺へ参ることを**初詣**という。初詣の習慣は明治から大正にかけて広まったもので、それ以前は、参拝に出るのではなく、新しい年の神（年神様）を自宅にむかえて祀るのが一般的だった。

初詣の由来には、二つの説がある。一つは、新しい年の神をむかえるために、大晦日に氏神様の社に籠もった年籠りの習慣が、いつしか氏神神社へ参る形に変化したという説。かつて一続きとされていた大晦日の夕方から元日の未明にかけての時間を、一年の区切りとして分割しようとする考えが徐々に一般化したようである。

二つめは、陰陽道の**恵方参り**に由来するという説だ。恵方とは、年神様が回る方向のことで、非常に縁起がよい。そのため、恵方にある社寺へ参っていたのが、いつか初詣になったという。

そんな初詣だが、最近では、明治神宮などの有名な社寺へ参るのが人気となっている。

### 初詣の人出が多い神社ベスト10



正月に社寺へ詣でる習慣はいつ頃始まったのか？

# 시키타리 -내용과 유래 \*pdf자료 참조

- 불교
- 무사
- 상인
  
- 천황 전통혼례 **신전**(神前)결혼식 신사에서 거행

# 오카와리 리필문화

## 인연(因緣) 연기(緣起)

## 일기일회(一期一會)

日常のしきたり

# おかわり

一口ぶん茶碗に残しても失礼にあたらぬという不思議

一口残らず食べては縁もせきりに

よその家に食事招かれて、おかわりをすすめられた場合は「あまり食べ過ぎるとはしたなく思われる」と遠慮したりせず、素直にいたくのが礼儀にかなった作法といえる。

一膳だけご飯を終えるのは、葬儀の際に死者の枕元に盛る山盛りの飯を想像させ、縁起が悪いとされているからである。

またおかわり際には、茶碗の底に「一口ぶん」飯を残して差し出すようにする。「食べかけのご飯を相手に見せたりしていいのだからか」と思われかねないが、この場合は失礼にならない。

一粒残らず食べて茶碗のなかに何もなくなると、もういらぬという意味になってしまうのである。

一口残すことは、もっと食べたというだけではなく、その家の主とこれからも縁を保ちたいという意思表示になる。もてなしに感謝し、人間関係をさらに深めたいという積極的な気持ちをあらわしているのである。

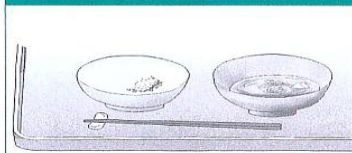
かつて日本には、誰かの家を訪問した際「また参ります」という意味で、手ぬぐいや扇などのちよつとした小物をわざと置いて帰る風習があった。

また、お見合いで女性の家を訪問した男性が扇を置いて帰ると、「この縁談を進めたい」という意味になった。

これらは、いずれも、何かを残して縁をつなぐという作法である。何もなくなると、縁もせきり切れてしまう。茶碗の底の一口のご飯にも、日本人は深い意味をもたせてきたのである。

### 茶碗に残ったご飯の意味

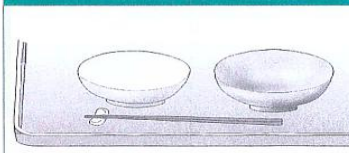
一口食べ残した場合



茶碗に食べかけのものがある

その家の主との縁がつながっている

一口残らず食べた場合



茶碗に何も残っていない

その家の主との縁が切れる

# 젓가락문화-유래

## 불저(佛箸)

## 합저(合箸)

## 자저(刺箸)

日常のしきたり

# 箸

死者を思わせる作法は絶対にしてはいけない

中国で生まれた箸の歴史は、西洋のナイフやフォークより古い。日本では、『古事記』のなかに箸が登場する。スサノオノミコトが、川上から流れてくる箸を見て人が住んでいることを知り、ヤマタノオロチを退治するきっかけになったと記されているのだ。

当時の箸はピンセット状になっていたようで、上部を切り離した二本使いの形に変わったのは、後の時代のことようだ。

この一対の箸をじょうずに使うこなせうとする過程で、いくつかの作法が生まれた。どの作法にも見た目が美しくない、他人に不快感を与えるといったことを避ける目的があり、礼儀作法の基本になった合理的な理由をもつ。

箸をなめる「ねぶり箸」や、何を取ろうか卓上で箸を泳がせる「迷い箸」、運くの際に手を伸ばし食材を突き刺して取る「及び箸」、その器を箸で近くに引き寄せる「寄せ箸」などは、ふだん目にすることも多いだろう。

また箸を二本まとめて握る「握り箸」は、幼児のように見えるだけでなく、握った箸の頭に親指をあてると武器にもなるから、同席者を不安にするとして禁じられた。そして最大のタブーとされているのは、盛ったご飯に箸を突き立てる「仏箸」。死者の枕元にする「枕めし」と同じ形になるからだ。もう一つ、箸から箸へ食べ物を受け渡す「渡し箸」という方法も厳しく禁じられている。火葬後の骨揚げのときには、二人一組になって骨を箸でつまみ、骨壺に移すからである。

### 行儀の悪い箸使い

仏箸と合わせ箸は、死者を連想させるため、とくに行儀が悪いとされている

刺し箸



食べ物に箸を突き刺して食べる

仏箸



ご飯茶碗に箸を突き立てる

合わせ箸



箸から箸へと食べ物を受け渡す

もぎ箸



箸についた米粒を口で取る

ねぶり箸



箸の先をなめる

寄せ箸



箸を使って器を自分のほうへ寄せる

知っているようで知らない  
箸使いマナーのルール

# 일본역사 및 사회문화 이해의 전제

## -키워드 10가지

- 환경적 요인(자연지리적 조건)-열도(바다), 산, 지형, 기후, 재해
- 역사적 요인(각 시대의 주인공)-천황, 무사, 상인
- 사회문화적 요인-불교, 외척
  
- 연중행사/전통문화
- 시키타리
- 세계유산에 나타난 특징
- 휴일-천황의 나라, 바다의 나라, 산의 나라, 노인과 무사 및 상인의 나라

# 일본의 휴일

令和3年(2021年)의 国民의 祝日・休日

名称	日付	名称	日付
元日	1.1	こどもの日	5.5
成人の日	1.11(월)	海の日	7.22(목/임시)
建国記念の日	2.11	スポーツの日	7.23(금/임시) *10/10
天皇誕生日	2.23	山の日	8.8(일/임시) *8/11
春分の日	3.20	休日	8.9(대체/월)
昭和の日	4.29	敬老の日	9.20(월)
憲法記念日	5.3	秋分の日	9.23
みどりの日	5.4	文化の日	11.3
		勤労感謝の日	11.23

# 일본의 휴일

令和4年（2022年）の国民の祝日・休日

名称	日付	名称	日付
元日	1.1	こどもの日	5.5
成人の日	1.10	海の日	7.18
建国記念の日	2.11	山の日	8.11
天皇誕生日	2.23	敬老の日	9.19
春分の日	3.21	秋分の日	9.23
昭和の日	4.29	スポーツの日	10.10
憲法記念日	5.3	文化の日	11.3
みどりの日	5.4	勤労感謝の日	11.23

# 헌법기념일 5/3

## 일본국헌법의 특징

- 일본국헌법 1946년 11월3일 공포, 1947년 5월3일 시행
- 신헌법=평화헌법
- 제1장 천황 제1조~제8조 상징천황제[주권재민, 정치권력 행사 불가, 일본국 및 일본국민 통합의 상징]
- 제2장 전쟁 포기 제9조 전쟁포기(무력사용 불가 군대보유 불가 교전권 불인정)=평화헌법
  
- 대일본제국헌법 메이지22년 제정(1889.2.11)=구헌법=메이지헌법
- 현인신 顯人神/現人神 대일본제국은 만세일계의 천황이 통치한다.  
천황은 신성불가침한 존재. 만기총람

# 건국기념일(2/11) 근로감사의 날(11/23)

- 건국기념일 유래
- 기원전 660년 1월 1일(음력) 진무(神武)천황 즉위
- 메이지6년(1873) 음력에서 양력으로 변경 음1/1→양2/11
- 갑자(甲子)혁명설 신유(辛酉)혁명설=참위설(讖緯 중국 도참사상)  
60년=1元, 21元=1260년 주기.
- 601년 신유(辛酉)년 스이코(推古)천황 쇼토쿠(聖德)태자 시기
- 602년 백제에서 관록 스님 파견-역법(曆法) 전수[천문지리서 및 둔갑방술서와 함께]
- 일본의 건국기원은 7세기 초 이후의 지배층의 사고의 산물

# 근로감사의 날(11/23)

- 농경사회로 전환-야요이시대 이후
- 밭농사가 아닌 논농사(벼농사) 시작 \*한국/중국과의 차이
- 농경사회에서는 신에 대한 제사가 중요-풍작과 흉작을 결정
- 마쓰리의 유래 마쓰리=제사 마쓰리고토=정치
- 봄의 제사-기년제(祈年祭) 도시고이노마쓰리 풍년기원 제사
- 가을의 제사-신상제(新嘗祭) 니이나메노마쓰리 추수감사제=세금의 기원
- 천황즉위식=대상제(大嘗祭) 다이조사이
- 신사-봄 대제, 가을 대제